



平成22年11月11日

各位

上場会社名 株式会社トクヤマ  
 代表者 代表取締役社長 幸後 和壽  
 (コード番号 4043)  
 問合せ先責任者 広報・IRグループリーダー 松本 良文  
 (TEL 03-3499-8023)

## 第2四半期業績予想値と実績値との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年8月2日に公表した第2四半期業績予想値と実績値との差異をお知らせするとともに平成22年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	140,000	8,000	6,000	3,500	10.06
今回発表予想(B)	139,685	8,775	5,976	2,924	8.40
増減額(B-A)	△314	775	△23	△575	
増減率(%)	△0.2	9.7	△0.4	△16.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	130,799	8,369	7,013	4,268	14.91

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	286,000	14,000	13,000	7,500	23.65
今回発表予想(B)	286,000	17,500	14,000	7,500	21.55
増減額(B-A)	0	3,500	1,000	0	
増減率(%)	0.0	25.0	7.7	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	273,154	16,483	15,355	7,458	23.52

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	96,000	6,500	4,500	2,000	5.71
今回発表予想(B)	94,454	6,437	3,591	425	1.22
増減額(B-A)	△1,545	△62	△908	△1,574	
増減率(%)	△1.6	△1.0	△20.2	△78.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	89,909	7,992	5,611	3,162	11.04

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	192,000	11,000	10,000	6,000	18.92
今回発表予想(B)	194,500	13,500	9,500	4,000	11.49
増減額(B-A)	2,500	2,500	△500	△2,000	
増減率(%)	1.3	22.7	△5.0	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	187,911	14,805	12,745	5,510	17.38

## 修正の理由

### (第2四半期累計期間)

個別業績予想につきましては、経常利益が主に為替差損の増加により、前回予想を下回る見込です。四半期純利益も、経常利益減少の影響に加えて、貸倒引当金繰入の増加等により減益となる見込です。

連結業績予想につきましては、連結子会社の株式会社エイアンドティー、フィガロ技研株式会社等が好調で増益の予想ですが、四半期純利益は個別業績をカバーするには至らない見込です。

### (通期)

個別業績予想につきましては、営業利益は多結晶シリコンの出荷増やセメントの合理化等により前回予想よりも増加する見込です。しかし第2四半期累計期間で説明した要因等により、経常利益は減益、また当期純利益も減益となる見込です。

連結業績予想につきましては、連結子会社の好調により、営業、経常利益は増加、当期純利益も前回予想を確保する見込です。

なお、1株当たり当期純利益は、期中平均株式数を用いて計算しています。第2四半期累計期間の前回予想では平成23年3月期第1四半期平均、通期の前回予想では平成22年3月期の平均株式数を用いています。今回予想は第2四半期累計期間、通期共に平成23年3月期第2四半期累計期間の平均株式数を用いています。

※本資料は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。

以 上